

2学年便り

毛野の国原～

水にささやく～

古歌にかよわす～

H28. 7. 20

とちぎっご学習状況調査の結果が出ました。正しく理解するために

4月19日に栃木県全体の2年生が一斉に実施したテストの結果が出ました。本来、テストは、「できる、できない」を確認するものではありません。県の教育委員会は、教科のテストだけでなく、質問文による意識調査も合わせて実施し、改善点を示してくれました。

まずは、正答率の見方に注意してください。100点満点の得点ではありません。例えば、問題数40問で、20問正解なら半分ですから正答率は50です。30問正解なら $\frac{3}{4}$ ですから正答率は75です。生徒を通じて配布した個票も注意してご覧ください。

	国語	社会	数学	理科	英語	学びの基礎力	社会的実践力	家庭学習力
藤岡一中	65.8	47.1	53.1	55.0	70.3	61.9	64.5	58.8
栃木県	65.9	53.5	54.9	57.3	70.3	65.9	66.1	60.8

また、個票には、全体の正答率だけでなく、よく見ると各教科・単元ごとの正答率も出ています。全体が良い、悪いではなく、部分的にも高い正答率のところがあります。そこを認めて褒めてあげてください。そして、苦手なところもやればできるという気持ちを持たせてあげてほしいと思います。

私たちは、つい「勉強しなさい。」と言いますが、それだけでは解決にならないことも感じています。そこで、生徒が学びの環境をどうとらえているか、質問文によって回答してもらったものが、上の表の後半の3項目です。その詳しい内容は次のとおりです。

○学びの基礎力とは

豊かな基礎体験

① 家族や友人、先生との良好な信頼関係ができています。

学びに向かう力

② 知的好奇心や感性が豊かで、学習の楽しさやおもしろさを感じている。

③ 学習の役立ちや大切さを積極的に認めている。

④ 物事をやり遂げた経験や喜びを味わっている。

自ら学ぶ力

⑤ 繰り返しだけでなく、関連させて覚えるという方略も取り入れている。

⑥ 学習の計画やめあてを持って取り組んでいる。

⑦ 家庭での学習時間を確保し、宿題をきちんとやっている。

学びを律する力

⑧ わからない事はそのままにせず、わかるまで努力している。

⑨ 学校の授業を大切にしている。

○社会的実践力とは

問題解決力

① 筋道を立てて物事を考え、自分なりの意見を持っている。

② 調べたことや考えたことを適切な手段で表現している。

社会的実践力

③ 社会に対する関心が高く、自分なりの貢献の在り方を考えている。

豊かな心

④ 自分に与えられた課題は、きちんと責任を持ってやり遂げている。

⑤ 難しいことにも失敗を恐れず挑戦する積極性を持っている。

⑥ 自分と異なる意見も尊重し、協調しながら物事に取り組んでいる。

自己成長力

⑦ 自分の力を伸ばしたいという意志と目標を持っている。

「学びの基礎力」が県の平均より下回っていますが、「自ら学ぶ力」や「学びを律する力」はほぼ同じなのですが、「豊かな基礎体験」と「学びに向かう力」では、県の平均を5～6ポイント下回っています。中でも、上の項目の①、②、③、④がこれからの課題と考えています。①に関わることですが、学級での「学びを支え合う力」もポイントが低くなっていました。互いに教え合い、学び合える集団作りの必要性を感じました。

「社会的実践力」では、「問題解決力」や「豊かな心」は県の平均を少し上回っていました。一方、「社会的実践力」や「自己成長力」が少し落ち込んでいました。職場体験等の体験や進路学習を通して社会の一員としての自覚を育て、自分の力を伸ばす大切さを学ばせたいと思います。

また、質問の中で、「読書量」は県の平均を上回っていましたが、「テレビを見る時間」の3時間以上が県平均27.7ポイントに対し本校は37.3ポイント。「ゲームをする時間」の3時間以上が県平均19.0ポイントに対し22.9ポイントとなっていました。この結果を見て、『ノーマディアデー』の取り組みの必要性も理解していただきたいと思います。

また、県の教育委員会では、テストだけでなく、2年生のために問題集(フォローアップシート)を作成してくれました。夏休み後半の課題にしたいと思います。今回の結果と合わせて、弱点克服のために活用してほしいと思います。

いずれにしても、テストが終わりではなく、生徒が自分を理解し、これからの学習に生かして自分を成長させる道しるべになってほしいと思います。そして、教師も保護者の皆さんも同じように生徒の特徴を理解し、よりよい環境や言葉掛けができるように活用していきたいと思います。

いよいよ夏休み

○学習面 課題を中心に計画的に取り組み、2学期に備えましょう。始業式の次の日(9/2)には**実力テスト**を実施します。夏休みの学習の成果が確認できます。

2年生は、休み中最低2回学校に来ることとなります。

1回目は、8/5～10で1回・・・前期提出の課題を持って来てください。そのとき、後期の課題として県教委が、県内の中学2年生のために作成した「フォローアップシート」を配布します。

2回目は、8/22～26で1回・・・「フォローアップシート」など、夏休みの課題の進み具合を確認します。人によっては、学校で学習することもできます。

○部活動 ほとんどの部活動で3年生が引退し、**2年生が活動の中心**になります。挨拶をはじめ、活動の様子が2年生で決まります。自覚を持ち、自分だけでなく後輩をリードできる2年生になってください。そして、練習や練習試合・支部大会に取り組み、秋の新人戦には、県大会出場など好成績が残せるように頑張りましょう。

○生活面 「夏休みの生活心得」の通りです。

1学期中も、登下校や休みの生活について、良いことも心配なことも地域の方の声が電話等で聞こえてきました。気付いてなくても誰かが見えています。学校を離れても、中学生の自覚を持って生活しましょう。

それから、新聞やテレビのニュースでも、夏休みに事故や事件に巻き込まれた中学生が、毎年話題になります。自分は大丈夫などと油断しないで気を付けて生活しましょう。

- ・ 栃木市では、中学生が携帯電話スマートフォンを持つことを禁止しています。同様に、パソコン等でLINEやメールを利用することもやめてください。
- ・ ゲームセンターやカラオケなどは、子どもだけでは行かないようにしましょう。
- ・ 夜間外出、外泊は絶対しない。

詳しいことは、生活心得で確認しましょう。